

宇宙の始まりは「無のゆらぎ」

～以下、「天声人語」＜朝日新聞（9 1.3.1 2）＞より～

注：・・・・・・は省略部分。太字は引用者が強調のためにそうしました。

・・・・・・ひと昔前のビッグバン理論では、一点の火の玉が大爆発を起こして宇宙が始まったということだった。これには初期エネルギーを与える「神の一撃」が必要だった。最近の宇宙論は、このエネルギーを「無」からひねり出す。**時間も空間もない無から宇宙がポロリと生まれ出た。**このあと「宇宙のインフレ」が起こって急激に膨張し、ビッグバンの元になる火の玉となった。無から有を生み出すのは科学者の手品ではない。ミクロの世界の法則である量子論に基づいて「**無のゆらぎ**」から導かれる・・・・・・。この宇宙は無数に生まれた宇宙の一つに過ぎない。一瞬で終わってしまった宇宙もあり、別の進化をとげた知性生物のいる宇宙があってもいい。・・・・・・私たちの宇宙はいつまでも膨張し続けるのか、そのうち収縮に転じて数百億年後にまた「無」に帰するのか。いまの観測データではどっちともいえない・・・・・・。